

御報告

関係者の皆様、各取引先様、弊社企画に賛同くださっている全ての皆様

時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素よりご高配賜り誠にありがとうございます。

日ごとに陽春を感じられるようになりました。

皆様に、以下ご報告いたします。

平成 27 年 4 月 6 日

記

東日本大震災英訳 8 作品につきまして、ローマ法王へ献上しましたところ、お手紙を頂戴いたしました。

■献上の背景

千年に一度と言われる東日本大震災。

弊社は、皆様のご支援、ご指導のもと、東日本大震災宮城プロジェクトを行ってまいりました。日本語 10 作品は 2014 年 3 月 11 日にオンデマンド、電子出版し、東日本大震災英訳書籍 8 作品につきまして、翻訳者、校正者の皆様のご協力にて、本年 2 月 23 日に国内外に向けてオンデマンド、電子書籍として出版いたしました。

世界的にみても、自然災害について、大きな問題となっており、3 月には宮城県仙台市で国連防災会議も開かれました。

弊社としましては、各作品を通して、今一度自然災害や防災について考えてもらうきっかけとして、また、世界の皆様からの支援に対して感謝の想いを表したいと思っております。

イタリアでも地震による被害があったことは、皆様も記憶されているかと思います。大変、恐縮ではございますが、ローマ法王にぜひ、英訳作品を読んで頂ければとの思いから、献上させていただきました。

■秘書の方からのお手紙

先日、郵便が届きました。お返事をいただけるなど考えておりませんでしたので、大変、驚きました。皆様に原文をお見せすることは、事情によりできませんが、秘書の方のお言葉の一部をご案内いたします。

His Holiness Pope Francis pleased to acknowledge the kind letter and gift sent for his acceptance. He appreciates the devoted sentiments which prompted this thoughtful presentation.

The Holy Father gives the assurance of a remembrance in his prayers and sends his blessing.

日本語に訳しますと、以下の表現となります。

ローマ法王におかれましては、ご丁寧な手紙と贈り物を受け取られお喜びです。そしてこのような思いやりあふれる行いをされた献身的なお心を高く評価されておいでです。

聖なる父(ローマ法王)は、必ず祈りと祝福を捧げられます。

■弊社の見解といたしまして

大変恐縮ながら、ローマ法王に東日本大震災英訳書籍 8 作品を読んでもらったこと、大変うれしく思っております。また、秘書の方を通じて、温かいお言葉をいただきましたこと、そして、ローマ法王が震災犠牲者、被災者に祈りを捧げていること、日本人として、嬉しく思っております。

ローマ法王のお言葉を胸に、国内外の皆様、作品を広く知っていただけるよう、また、防災、減災について考えていただくきっかけとなりますよう、微力ながら精進してまいります。

関係者の皆様、各取引先の皆様、賛同して下さっている皆様方におきまして、今後とも、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

■本企画の到達点

弊社としましては、国内外の多くの方々に日本語、英訳作品を読んでもらい、自然災害、防災について考えていただくきっかけになっていただければと思っております。また、東日本大震災の風化を防ぎ、今一度、日本人同士、被災地の皆様の心に寄り添い、被災地を訪問していただきたいと思っております。大震災で犠牲になられた全ての御霊、行方不明の方々の無念を共有し、手を合わせて合掌して、成仏できますよう、多くの国民の皆様が行動するきっかけとなっていただければ幸いです。

被災地を訪問いたしますと、復興は遅れております。

国内外の皆様が被災地を訪問することにより、震災遺構（モニュメント）、産業、雇用等の問題が改善するのではないかと、思っております。

震災遺構につきましては、遺族の皆様には色々な思いがあると思いますが、訪問される方が増えれば、解決に向けての方向性が見えてくるように思うのです。

そして、3月9日の弊社プレスリリースにも記述いたしましたが、一定の販売部数を超えた場合、収益の一部を寄付することでお役にたてれば、本企画を行った成果が出るのではないかと考えております。

■最後に

弊社は、ローマ法王への献上につきまして、極秘で行ってまいりました。

この度、お手紙を頂戴し、ローマ法王からの温かいお言葉をいただきましたので、本企画に賛同してくださっている皆様、読者の皆様、励ましのお手紙をくださっている多くの皆様に知っていただくため、弊社ホームページにて、掲載いたします。

なお、本報告内容および公表を含めた一切の責任は弊社にある旨、申し添えます。

株式会社 ヒロエンタープライズ
代表取締役 谷 代 浩